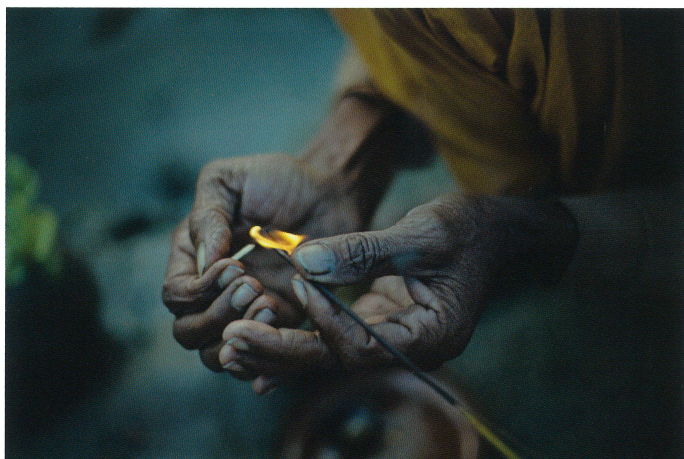




# 祈り ・ 藤原新也

The Eyes of the Prayer: Photographs and Works of Shinya Fujiwara



©Shinya Fujiwara

1944年に福岡県門司市(現 北九州市)に生まれた藤原新也。東京藝術大学在学中に旅したインドを皮切りに、アジア各地を旅し、写真とエッセイによる『インド放浪』、『西藏放浪』、『道遙遊記』を発表します。1983年に出版された単行本『東京漂流』はベストセラーとなり、社会に衝撃を与えます。また同年に発表された『メメント・モリ』は、若者たちのバイブルとなりました。1989年には、アメリカを起点に西欧へと足をのばし、帰国後は自身の少年時代を過ごした門司港で撮影した『少年の港』をはじめ、日本にカメラを向けます。そして旅のはじまりから50年後、現代の殺伐を伝えるニュースを背に、大震災直後の東北を歩き、コロナで無人となった街に立って、これまでの道程と根幹に流れる人への思いを「祈り」というタイトルに込めます。そして藤原の見た、人が生き、やがて死へと向かうさまは、現在形の〈メメント・モリ(死を想え)〉へと昇華され、新たな姿でわたしたちの「いま」を照らします。

藤原の表現活動で特筆すべきは、写真、文筆、絵画、書とあらゆるメディアを縦横無尽に横断し、それぞれの領域において秀でた表現を獲得していることにあります。

本展は、「祈り」をキーワードに、初期作から最新作までの写真作品を一堂に展示します。藤原の郷里北九州の地で大規模な個展となる本展では、北九州市立美術館、北九州市立文学館と2館同時開催し、藤原新也の多彩な仕事を立体的に展開します。

藤原新也 ふじわら・しんや

1944年福岡県門司市(現 北九州市)生まれ。東京藝術大学絵画科油画専攻に入学後、アジア各地を旅し1972年に『インド放浪』を発表。第3回木村伊兵衛写真賞、第23回毎日芸術賞を受賞。著書に『全東洋街道』、『東京漂流』、『メメント・モリ』、『アメリカ』、『渋谷』、『コスモスの影にはいつも誰かが隠れている』、『日々の一滴』など。写真集に『少年の港』、『千年少女』、『花音女』、『神の島 沖ノ島』(共著)などがある。

## 「祈り・藤原新也」展特別講演会

- 日時=9月10日(土) 14:00~15:00 ●場所=北九州芸術劇場小劇場(リバーウォーク北九州6階) ●定員=100名(要事前申込/応募者多数の場合抽選/参加無料) ●申し込み方法=往復はがきに①氏名②郵便番号・住所③電話番号を明記してお申込みください(1通につき2名まで/連名でご記入ください) ●締切=8月19日(金)必着 \*抽選結果は全員に通知いたします。●申し込み先=〒803-0813 北九州市小倉北区内4番1号 北九州市立文学館「藤原新也講演会」係

## 北九州市立美術館分館

KITAKYUSHU MUNICIPAL MUSEUM OF ART, RIVERWALK GALLERY

〒803-0812 北九州市小倉北区室町一丁目1番1号 リバーウォーク北九州5F

TEL: 093-562-3215 <https://www.kmma.jp>

[アクセス] ●JR=小倉駅から徒歩10分、西小倉駅から徒歩5分 ●西鉄バス=「小倉駅バスセンター」バス停から魚町・ソレイユホール方面行のバスに乗り、「室町・リバーウォーク」バス停で下車/「西鉄天神高速バスターミナル」から高速バス「いとづ号」(小倉方面行き)に乗り、「西小倉駅前」で下車 ●車(北九州都市高速道路)=「小倉駅北」ランプより5分/「大手町」ランプより5分 \*観覧料では駐車場利用料の割引はございません。

## 北九州市立文学館

Kitakyushu Literature Museum

〒803-0813 北九州市小倉北区内4番1号

TEL: 093-571-1505 <https://www.kitakyushucity-bungakukan.jp/>

[アクセス] ●JR=小倉駅から徒歩15分、西小倉駅から徒歩10分 ●西鉄バス=「小倉駅バスセンター」バス停(2番のりば)より、27番、28番バスに乗り、「北九州市役所前」で下車 ●車(北九州都市高速道路)=「大手町」ランプより2分 \*駐車場は最寄りの各有料駐車場をご利用ください。

